

敬語の基本を整理しよう〈解答〉

解答

敬語は誰を立てる言葉？

問1

尊敬語と謙譲語を見分けるとき、最初に確かめることとして最も適切なものはどれですか。

ア 文の長さ イ 動作をするのは誰か ウ 漢字の数

答え イ

補足：尊敬語と謙譲語を見分けるときは、誰の動作を表しているかを確かめることが大切です。

3種類の敬語

問2

「先生がお帰りになる」の「お帰りになる」は、どの種類の敬語ですか。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え ア

補足：先生の動作である「帰る」を高めて表しているので尊敬語です。

基本の言い換え

問3

先生が作品を見る場合、「先生が作品を（ ）」と表します。

答え ご覧になる

補足：先生の「見る」という動作を高めるので尊敬語の「ご覧になる」を使います。

ミニチェック

問4

「この本は私の本です」の「です」は、どの種類の敬語ですか。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え ウ

補足：「です」は聞き手に対して丁寧に述べる丁寧語です。

尊敬語・謙譲語・丁寧語を見分けよう〈解答〉

解答

敬語の種類を見分ける

問1

先生は先ほど【お帰りになった】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え ア

補足：先生の「帰る」という動作を高めているので尊敬語です。

問2

私は先生の作品を【拝見した】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え イ

補足：自分の「見る」という動作を低めて先生を立てているので謙譲語です。

問3

明日は校外学習【です】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え ウ

補足：「です」は聞き手に対して丁寧に述べる丁寧語です。

問4

校長先生がそう【おっしゃった】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え ア

補足：校長先生の「言う」という動作を高めているので尊敬語です。

誰の動作か考える

問5

生徒が担任の先生について別の先生に話します。最も適切なのはどれですか。

ア 担任の先生が明日の会議にいらっしゃる イ 担任の先生が明日の会議に伺う ウ 担任の先生が明日の会議に参る

答え ア

補足：担任の先生の「来る」という動作を高めるので「いらっしゃる」が適切です。

問6

自分が先生の研究室へ行くことを先生に伝えるとき、最も適切なのはどれですか。

ア 研究室へいらっしゃいます イ 研究室へ伺います ウ 研究室へお越しになります

答え イ

補足：自分の「行く」という動作を低めて先生を立てるので「伺います」が適切です。

問7

生徒が担任の先生について別の先生に話します。最も適切なのはどれですか。

ア 担任の先生が資料を拝見する イ 担任の先生が資料をご覧になる ウ 担任の先生が資料を伺う

答え イ

補足：担任の先生の「見る」という動作を高めるので「ご覧になる」が適切です。

問8

自分が先生の話聞いたことを先生に伝えるとき、最も適切なのはどれですか。

ア お話を伺いました イ お話をおっしゃいました ウ お話をご覧になりました

答え ア

補足：自分が先生の話聞くことをへりくだって表す「伺う」が適切です。

場面に合う敬語に言い換えよう〈解答〉

解答

尊敬語に言い換える

問1

先生がこの資料を【見る】。

答え ご覧になる

補足：文全体では「先生がこの資料をご覧になる」となります。「見られる」も尊敬の意味で使えるため、適切に尊敬表現として用いていれば正解とします。

問2

先生がそのように【言った】。

答え おっしゃった

補足：「言う」の尊敬語は「おっしゃる」です。「言われた」も尊敬の意味が明確な場合は正解とします。

問3

校長先生が会場へ【来る】。

答え いらっしゃる

補足：「来る」の尊敬語として「いらっしゃる」を使います。「お見えになる」も場面に合う尊敬表現なので正解とします。

謙譲語に言い換える

問4

私は先生の作品を【見る】。

答え 拝見する

補足：自分の「見る」という動作を低めて先生を立てる表現です。

問5

私は先生の研究室へ【行く】。

答え 伺う

補足：先生のいる場所へ自分が行くことをへりくだって表すので「伺う」を使います。

問6

私は先生にお礼を【言う】。

答え 申し上げる

補足：先生に対する自分の「言う」という動作をへりくだって表します。「申す」も謙譲語ですが、この文では「お礼を申し上げる」が最も自然な代表解です。

文全体を丁寧にする

問7

今日は寒い。

答え 今日は寒いです。

補足：形容詞の後ろに「です」を付けて丁寧にします。

問8

この本は私の本だ。

答え この本は私の本です。

補足：「だ」を「です」に直すと丁寧な表現になります。

敬語を正しく使い分けよう〈解答〉

解答

敬語の誤りを直す

問1

先生が先ほど【申しました】。

答え おっしゃいました

補足：動作主が先生なので、「言う」の尊敬語を使います。「言われました」も尊敬の意味が明確であれば正解とします。

問2

私は先生の作品を【ご覧になりました】。

答え 拝見しました

補足：動作主が自分なので、「見る」の謙譲語「拝見する」を使います。

問3

先生はその資料を【拝見しました】。

答え ご覧になりました

補足：動作主が先生なので、「見る」の尊敬語を使います。「見られました」も尊敬の意味が明確であれば正解とします。

会話に合う敬語を選ぶ

問4

生徒会の係が担任の先生に、来校した講師がもう帰ったかを尋ねます。

ア 講師の先生はもうお帰りになりましたか イ 講師の先生はもう参りましたか ウ 講師の先生はもう伺いましたか

答え ア

補足：講師の先生の「帰る」という動作を高める尊敬語「お帰りになる」を使います。

問5

生徒が先生に、自分が校長先生へ作品を見せる予定を伝えます。

ア 校長先生に作品をお見せします イ 校長先生が作品をご覧になります ウ 校長先生に作品を拝見します

答え ア

補足：自分が校長先生に作品を見せる動作をへりくだって表す「お見せします」が適切です。

問6

生徒が先生に、自分が校長先生へ資料を渡したことを伝えます。

ア 校長先生に資料をお渡ししました イ 校長先生が資料をお渡しになりました ウ 校長先生に資料をいただきました

答え ア

補足：自分が校長先生に資料を渡す動作をへりくだって表す「お渡ししました」が適切です。

敬語を組み合わせる

問7

先生はすぐに【お帰りになり】【ます】。

答え お帰りになり＝尊敬語、ます＝丁寧語

補足：先生の「帰る」を高める「お帰りになる」は尊敬語で、「ます」は聞き手に対する丁寧語です。

問8

私は先生の資料を【拝見し】【ます】。

答え 拝見し＝謙譲語、ます＝丁寧語

補足：自分の「見る」を低める「拝見する」は謙譲語で、「ます」は丁寧語です。

解答

敬語の判別

問1

先生が昼食を【召し上がる】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え ア

補足：「食べる」の尊敬語です。

問2

私は先生に予定を【伺う】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

答え イ

補足：自分の「尋ねる」という動作をへりくだって表す謙譲語です。

言い換え

問3

先生がその本を【読む】。

答え お読みになる

補足：「読む」の尊敬表現として「お読みになる」を使います。「読まれる」も尊敬の意味が明確であれば正解とします。

問4

私は校長先生に【会う】。

答え お目にかかる

補足：自分が目上の人に会うことをへりくだって表す言い方です。「お会いする」も文脈上適切な謙譲表現として正解とします。

空欄補充

問5

校長先生はその知らせを（ ）。

ア ご存じです イ 存じています ウ 伺います

答え ア

補足：校長先生の「知る」という状態を高める尊敬語「ご存じです」が適切です。

問6

私は先生から資料を（ ）。

ア いただきました イ 召し上がりました ウ おっしゃいました

答え ア

補足：自分が先生から「もらう」動作をへりくだって表す「いただきました」が適切です。

誤用訂正

問7

私は来校した講師を玄関まで【お送りになりました】。

答え お送りしました

補足：動作主が自分なので、「送る」を自分側の動作として表す「お送りしました」に直します。

問8

校長先生はその予定を【存じています】。

答え ご存じです

補足：動作主が校長先生なので、「知る」の尊敬語「ご存じです」を使います。

総合問題

問9

生徒が来校した講師に、自分が教室まで案内することを伝えます。

ア 私が教室までご案内します イ 私が教室までご案内になります ウ 私が教室までいらっしやいます

答え ア

補足：自分が講師を案内する動作をへりくだって表す「ご案内します」が適切です。

問10

先生が【お作りになった】資料を、私は【拝見しました】。

答え お作りになった＝尊敬語、拝見しました＝謙譲語と丁寧語

補足：「お作りになる」は先生の動作を高める尊敬語です。「拝見する」は自分の動作を低める謙譲語で、語尾の「ます」は丁寧語です。